

研究業績

吉田 ゆり子

I. 著書(単著)

1. 『近世の家と女性』山川出版社、2016年、332頁。
2. 『兵と農の分離』山川出版社、2008年、104頁。
3. 『兵農分離と地域社会』校倉書房、2000年、427頁。

II. 編纂書(共編著)

1. 『画像史料論——世界史の読み方——』東京外国語大学出版会、2014年、321頁。

III. 学術論文

1. 「武家の女性と財産分与—徳川家康側室の事例から—」高澤紀恵／ギョーム・カレ『「身分」を交差させる—日本とフランスの近世—』東京大学出版会、233～262頁、2023年。
2. 「甲府城の築城過程—躑躅ヶ崎館から甲府城へ—」『東京外国語大学論集』103号、縦書1～29頁、2022年。
3. 「儒教思想の日本的受容と職分観念—性別役割に注目して—」小浜正子・落合恵美子編『東アジアは「儒教社会」か?』京都大学学術出版会、115～139頁、2022年。
4. 「中近世移行期研究の論点」『人民の歴史学』224号、13～32頁、2020年。
5. 「近世初期の城郭・城下町建設と遠山の森林資源」『飯田市歴史研究所 年報』18号、61～82頁、2020年。
6. 「近世京都の寺社と非人」杉森哲也編『シリーズ三都 京都巻』東京大学出版会、203～229頁、2019年。
7. 「郷土の家と地域社会—国人一族と家臣の近世—」井奥成彦・谷本雅之編『豪農たちの近世・近代—19世紀南山城の社会と経済—』東京大学出版会、219～272頁、2018年。
8. 「日本の都市と樹木—城と城下町の近世から近代へ—」ダニエル・V・ボツマン他編『「明治一五〇年」で考える—近代移行期の社会と空間』山川出版社、151～167頁、2018年。
9. 「伊那谷の村と人形浄瑠璃」『飯田市歴史研究所研究年報』14号、149～157頁、2016年。
10. 「東アジア伝統社会における家と女性」早川紀代他編『歴史をひらく』御茶の水書房、149～159頁、2015年。
11. 「幕末開港と『倭夷之差別』—外国人向け遊廓成立序説—」佐賀朝他編『シリーズ遊廓社会 近世から近代へ』吉川弘文館、29～68頁、2014年。
12. 「幻の木々を求めて—城絵図を読み解く—」吉田ゆり子他編『画像史料論——世界史の読み方——』東京外国語大学出版会、258～296頁、2014年。



研究業績

13. 「信州下伊那の寺社と芸能者」『身分的周縁と地域社会』山川出版社、149～198頁、2013年。
14. 「人形芝居——芸能の担い手と地域社会——」『伝統都市を比較する』別冊都市史研究、山川出版社、108～120頁、2011年。
15. 'Artiste ou marginaux :Les sasara de Shinano'Annales 66e annee-no 4,octpbre-decembre 2011、1029～1052 ページ、のち「簾」『思想』1084号、2014年8月所収。
16. 「幕末維新記の横須賀大瀧遊廓」『年報都市史研究』17号、50～63頁、2010年。
17. 「野田の原風景——醤油作り以前の野田——」『かつしか台地 第四十号』別冊、のち「近世野田町の成立と岡部氏」『野田市史研究』22号、2012年、31～62頁(一部改稿)。
18. 「近世湊町の地域特性」吉田伸之・伊藤毅編『伝統都市4 分節構造』東京大学出版会、185～215頁、2010年。
19. 「山門の公人」吉田伸之『寺社をささえる人々』吉川弘文館、80～111頁、2007年。
20. 「家」の記録——信濃国『熊谷家伝記』の史料的検討」『文書史料からみた前近代アジアの社会と権力』(デジタル版)東京外国語大学大学院研究科、100～128頁、2007年、のち『家』の記録——信濃国『熊谷家伝記』の史料的検討——」後藤雅知他編『山里の社会史』山川出版社、2010年、105～143頁(一部改稿)。
21. 「日本の村落——東アジアにおける近世村落の比較史的考察のために——」韓国古文書学会編『東アジア近世社会の比較——身分・村落・土地所有関係——』図書出版慧眼、韓国、319～340頁、2006年。
22. 「地域社会と身分的周縁——信濃国下伊那郡を中心として——」『部落問題研究』、2～32頁、2005年。
23. 「浦賀の町と遊所」『別冊 都市史研究 水辺と都市』山川出版社、92～112頁、2005年。
24. 「武士への憧れ——『系図』と『家伝記』——」『史資料ハブ 地域文化研究』7号、67～78頁、2005年。
25. 「兵農分離と身分」歴史学研究会・日本史研究会編『日本史講座』第5巻、東京大学出版会、133～166頁、2004年。
26. 「近世農村の姿——村と神社——」荒野泰典編『日本の時代史』14巻、吉川弘文館、256～291頁、2003年。
27. 「万歳と春田打ち——近世下伊那の身分的周縁——」『飯田市歴史研究所年報』1号、50～80頁、2003年。
28. 「外国人遊参所と横須賀」『市史研究 横須賀』創刊号、52～88頁、2002年。
29. 「神仏分離と門前町坂本」『年報都市史研究 伝統都市と身分的周縁』10号、85～97頁、2002年。
30. 「地侍層の「家」と女性——和泉国上神谷小谷家を素材として——」大口勇次郎編『女の社会史』山川出版社、93～115頁、2001年。
31. 「東上総地域における酒の生産と流通——上総国埴生郡矢貫村今関家を中心として——」『千葉県史研究』7号別冊、63～90頁、1999年。

32. 「上粕村の村切りと共同体」石井寛治他編『近世・近代の南山城』東京大学出版会、1～61頁。
33. 「近世における「国人領主」と旧臣・「本貫地」」『史料館研究紀要』29号、111～115頁、1998年。
34. 「江戸時代における「地酒」生産と商品化(1)・(2)」『食生活研究』、18-4、18-5、11～21、11～20頁、1997年。
35. 「中近世移行期の「武士」と村落(上)・(下)」『人民の歴史学』133、134号、11～28、33～40頁、1997年。
36. 「公人と「権威」——剃髪から帯刀へ——」久留島浩他編『近世の集団』山川出版社、209～232頁、1995年。
37. 「村に住む「武士」」渡辺尚志編『新しい近世』4巻、新人物往来社、168～212頁、1995年。
38. 「百姓の家と家族」『岩波講座 日本通史』12巻、岩波書店、65～105頁、1994年。
39. 「明治期日本人の贈答儀礼」『(東京外国語大学)日本語学科年報』14号、55～72頁、1993年。
40. 「江戸近郊農村における醤油醸造——武蔵国橘樹郡溝口村上田家を素材として——」横浜開港資料館横浜近世史研究会編『19世紀の世界と横浜』山川出版社、313～345頁、1993年。
41. 「儒家女性の生活——頼梅颯の仕事と出産・育児——」林玲子編『日本の近世』15巻、中央公論社、129～166頁、1993年。
42. 「関東における醤油醸造業の展開——下総国佐原村伊能茂左衛門家を中心に——」高村直助他編『商人と流通』山川出版社、289～330頁、1992年。
43. 「村役人の役割」藤井讓治編『日本の近世』3巻、中央公論社、231～270頁、1991年。
44. 「天正検地と「知行」——信州下伊那郡虎岩郷を素材として——」『日本史研究』334号、1～29頁、1990年。
45. 「幕末の民衆運動——信州下伊那郡田村村の「御影祭」——」『歴史評論』485号、2～25頁、1990年。
46. 「醤油醸造業における雇用労働」林玲子編『醤油醸業史の研究』吉川弘文館、131～196頁、1989年。
47. 「幕末期江戸近郊農村における醤油醸造」横浜近世史研究会編『幕末の農民群像』横浜開港資料館、48～72頁、1998年。
48. 「近世における永高と反銭・棟別——相模国鎌倉郡を中心として——」『お茶の水女子大学 人間文化研究年報』2-0～2-37頁、1997年。
49. 「幕藩体制成立期の村落と村請制——信州下伊那郡虎岩村を中心として——」『歴史学研究』548号、2～16・41頁、1985年。
50. 「近世『本百姓』再考察の試み」『人民の歴史学』86号、13～24頁、1985年。

IV. 講演・口頭発表等

1. 講演「浪合の歴史——浪合関所と中馬街道——」長野県阿智村中馬街道連絡会、東山道園原ビジターセンター「ははき木館5」、2024年2月3日。
2. 講演「甲府城築城時代の再考察」山梨県考古学講座、オンライン、2024年1月13日。
3. 講演「江戸を支えたバイオマス・エネルギー——薪炭の流通と徴税システム——」東京外国語大学連続市民講座、2023年12月9日。
4. 講演「御厩方御家人下与市郎家と府中」府中市史談会主催、於府中市市民活動センタープラッツ「バルトホール」、2024年11月12日。
5. 講演「百姓としての自覚——二木家文書からみた兵農分離——」飯田市歴史研究所地域史講座、於龍江公民館、2023年10月21日。
6. 研究発表「近世日本における夫婦の間柄——「夫婦有別」と「夫婦中能」——」ベトナムのハンノム研究院で開催されたワークショップ「東アジアの儒教資料とベトナム碑文：学際的アプローチ」(Confucianisms and Stele Inscriptions in East Asian Cultural Sphere: An Interdisciplinary Approach) (主催：ハンノム研究院、VIETNAMICA プロジェクト、越日大学、JSPS 科学研究費助成事業基盤研究(B)「東アジア各国の「姓・生・性」の変容の比較史的研究——「東アジアの奇跡」の裏側で」(代表小浜正子))、2023年3月14日。
7. 研究発表「遠山谷の集落と生業——近世和田村を中心として——」『山里社会における生業の多様化と個性の時——近世・近代の下伊那地域——』科学研究助成事業基盤研究(A) 課題番号20H00025 中間ワークショップ、2022年12月3日、於飯田市上郷公民館講堂・オンライン併用。
8. 講座「調査法特論」文化庁主催文化財建造物主任技術者研修、2022年11月29日。
9. パネルディスカッション「世界史における近世城郭の意義」2022年7月3日、彦根城世界遺産登録推進協議会主催。
10. 研究発表「近世日本の「儒教化」と家族」国際東方学者会議第六六回大会、シンポジウムⅡ「近世東アジアにおけるさまざまな「儒教化」とジェンダー規範」オンライン、2022年5月21日。
11. 講演「近世女性の規範とくらし」於安城市歴史博物館、2022年2月20日。
12. 研究発表「儒教思想の日本的受容と職分観念——性別役割に注目して——」比較家族史学会大会、オンライン、2021年。
13. 口頭報告「書評・地方史研究協議会編『京都という地域文化』(雄山閣、2020年刊)」(公財)世界人権問題研究センタープロジェクトチーム2 研究会、2021年11月23日、オンライン。
14. 研究発表「甲府城の築城年代をめぐって——徳川家康の甲斐領国化——」「歴史と史料の会」2021年2月19日、オンライン。
15. 研究発表「近世初期の城・城下町建設と遠山の森林資源」飯田市歴史研究所地域史研究集会、飯田市、2018年。
16. 講演「阿智村浪合の歴史を語る千葉家文書——県宝指定の意義——」阿智村主催、千葉家文書県宝指定記念事業、2019年3月9日、於阿智村浪合コアホール。

17. 講演「馬医下家と馬市」府中市史編さん 講座・パネル展示「史料でみる府中宿の歴史」、2017年12月16日、於市民活動センタープラッツ第2会議室。
18. 研究発表「武家の女性と財産分与」日仏二国間セミナー「身分制社会における身分と周縁——一六世紀～一九世紀における日本とフランス——」国際基督教大学、2017年。
19. 研究発表「日本の都市と樹木, “The Meiji Restoration and its Afterlives: Social Change, Spatial Transformations and the Politics of Commemoration”」国際会議, the Council on East Asian Studies at Yale University, イェール大学、2017年。
20. 研究発表「日本近世における「家」の歴史意識——山里に遺された家伝記と遺言状を素材として——」日仏国際研究集会「都市・家・身分——日仏近世史の交差へ——」、2016年5月15日、於日仏会館五〇一会議室。
21. 研究発表「日本の城と樹木——人びとの暮しと城との関係に注目して——」世界史セミナー、2016年7月29日、於東京外国語大学。
22. 講演「『熊谷家伝記』をめぐって——「家」の存続と「武士への憧れ」のはざま——」阿南町教育委員会・同文化財審議委員会・和合念仏踊り保存会後援「念仏踊りの里で聞くふるさとの歴史講演会」2016年8月13日、於和合会館。
23. 講演「飯田城と丘の上の景観——樹木と都市の暮らしに注目して——」飯田市歴史研究所地域史講座、2016年11月21日、於飯田市役所C棟三階会議室。
24. 講演「地域の歴史を明らかにする」府中市史編さん 講座・パネル展示「史料でみる府中市の歴史——四谷と多摩川——」2016年11月27日、於スクエア二一・府中市助成センター。
25. 講演「醤油をめぐる生産・流通・消費」野田市史集中講座、2017年2月19日、於野田市役所八階大会議室。
26. 講演「幕末維新期の外国人向け遊廓、戦争と女性への暴力」リサーチ・アクションセンター、立教大学、2016年。
27. 講演「近世遠山地域の成立、遠山の歴史を学ぶ会」科学研究費補助金事業基盤研究(B)「近世山里の存立構造に関する基盤的研究」2015年。
28. 講演「周縁化された人々——藪・猿引きと地域社会——」東京外語会文化講演会、東京外語会、東京外国語大学本郷サテライト4階、2015年。
29. 研究発表「京都の非人——「坂」から「悲田院」へ——」京都部落問題研究所研究者全国集会、同志社大学、2015年。
30. 講演「日本近世社会とキリシタン」世界史セミナー、東京外国語大学海外事情研究所、東京外国語大学、2015年。
31. 講演「近世農村の古文書」茅野市八ヶ岳総合博物館主催、2014年10月4日。
32. 講演「近世の村と町——伝建地区の歴史的評価をめぐって——」2014年11月13日、文化庁文化財部参事官室主催伝統的建造物群保護行政研修会、於鹿島神宮。
33. 研究発表「伊那谷の村と人形浄瑠璃」飯田市歴史研究所主催、2015年2月21日。
34. 研究発表「幕末期開港場における外国人向け遊廓」セミナー「日韓における遊廓・公娼制度研

研究業績

究の現在」於ソウル、2015年3月8日、淑明女子大学校真理館。

35. コメント「日中韓女性史国際シンポジウム セッション2コメント」総合女性史研究会大会、立教大学、2014年。
36. 講演「開国のまち・浦賀の成り立ちと文化、町並み」第一九回都市景観フォーラム、よこすか都市景観協議会、ヴェルクよこすか、2014年。
37. 口頭報告「平沢史学から学ぶ下伊那地域研究」平沢清人没後四〇周年ワークショップ、飯田市歴史研究所、飯田市りんご庁舎会議室、2013年。
38. 講演「城と木—幻の木を求めて—」信濃史学会大会、あがたの森、2013年。
39. 講演「醤油を運んだ川の道」利根川舟運と利根運河、千葉県立関宿城博物館主催、2012年。
40. 講演「近世日本における差別と地域社会」世界史セミナー、海外事情研究所、東京外国語大学、2012年。
41. 講演「浦賀の「洗濯屋」と遊所」浦研講座、浦賀歴史研究所、ミュージアムパーク推進室、2012年。
42. 研究発表「身分的周縁と地域社会」史学会シンポジウム、東京大学、2011年。
43. 講演「幕末日本外交と開港場」世界史セミナー、海外事情研究所、東京外国語大学、2011年。
44. 講演「湊町浦賀と人びとの暮らし」横須賀開国史研究会大会、ヨコスカ・ベイサイド・ポケット、2011年。
45. 研究発表「人形芝居—芸能の担い手と地域社会」円座 伝統都市の比較史、国際会議、グループとらっど3、飯田市歴史研究所、飯田信用金庫2階大会議室、2010年。
46. 講演「日本の伝統社会と女性」『国際日本学学会』モンゴル国立大学、2010年、於ウランバートル。
47. 研究発表「幕末維新木における横須賀大瀧遊廓」遊廓社会、都市史研究会+グループとらっど3、東京大学工学部1号館15号教室、2008年。
48. 研究発表「信州下伊那地域における身分的周縁—飯田藩牢守と諸集団との関係—」身分的周縁の比較類型論、近世大坂研究会+ぐるーぷとらっど3+大阪市立大学 GCOE 都市論ユニット+大阪市立大学文学部都市文化研究センター(重点研究)、大阪市立大学文学部都市文化研究センター、2008年。

V. 研究ノート・史料紹介・書評・講演記録

1. 「展示評 性差(ジェンダー)の日本史」『歴史学研究』1008号、2021年、58～62頁。
2. 解説執筆、宮下金善・澄子『書き残された和合史』南信州新聞社出版局、2012年。
3. 解題執筆『松川町生田部奈 部奈一朗家文書』飯田市歴史研究所現状記録調査報告書2、2011年
4. 「史料紹介 幕末フランス人村に滞在した宣教師の記録」『市史研究 横須賀』6号、2007年3月、28～63頁。

5. 講演記録「古島敏雄氏による『御館・被官』研究——その内容と特徴——」『飯田市歴史研究年報』4号、2006年8月、15～23頁。
6. 講演記録「江戸時代における武家女性の生活」1999年12月お茶の水女子大学学院人間文化研究科『国際日本学専攻シンポジウム報告書』、のち大口勇次郎編『頼梅颯日記の研究』お茶の水女子大学ジェンダー研究センター所収（一部改稿）。
7. 研究ノート「下総国今上河岸と醤油の流通——柘田仁左衛門家文書による——」1997年3月『野田市史研究』8号、64～85頁。

VI. 史料集編著

1. 『宮下本 熊谷家伝記』東京外国語大学、学術書、単著、2020年。
2. 『湊十分所史料集』東京外国語大学出版会、学術書、共編者（共編著者）、2020年。
3. 『湊十分所日記——上総国湊川十分一改役所文書』東京外国語大学大学院、学術書、編集、2007年。

VII. 啓蒙書・一般書

1. 「コメント 絵図からみた暮しの景観」『飯田市歴史研究所年報』20号、2022年、41～54頁。
2. 「南信濃の口留番所」『史料で読む 飯田・下伊那の歴史3 山里 南信濃のあゆみとくらし』飯田市歴史研究所、2023年、10～15頁。
3. 「正月の門付芸」『史料で読む 飯田・下伊那の歴史2 川路のあゆみ——近世から近代へ』飯田市歴史研究所、2021年、79～98頁。
4. 「村と女性」高埜利彦編『近世史講義 女性の力を問い直す』ちくま新書、2020年、79～98頁。
5. 「南信州の蛭子社人」西宮神社文化研究所編『えびすさま よもやま話』神戸新聞総合出版センター、2019年、169～174頁。
6. 「矢貫村の豪農と周辺社会」『千葉県の歴史』通史編 近世2、千葉県、2008年。
7. 「醤油醸造業の展開」『千葉県の歴史』通史編 近世1、千葉県、2007年。
8. 「天龍川西岸の大きな村」飯田市歴史研究所編『みるよむまなぶ 飯田・下伊那の歴史』2007年。
9. 杉森哲也編『日本の近世』、放送大学教育振興会、8, 9, 10章（121～173頁）執筆、2007年、のち『大学の日本史』山川出版社、2016年として刊行。
10. 「村掟」「関蟬丸神社と籠」「質物の奉公人」「御館と被官」「中馬」「村の「武士」」『史料を読み解く——近世の村と町——』山川出版社、2006年。
11. 「百姓には本当に苗字がなかったのか」「武士は百姓の村にどんなときに行くことがあったのか」「切り捨て御免」は武士の特権だったのか』『100問100答 日本の歴史』4、河出書房新社、

研究業績

1998年。

12. 「頼梅颯——武家の妻と現代の主婦を比較すると——」吉村武彦他編『日本歴史を読み解く100人』文英堂、1995年。
13. 「「慶安の御触書」は存在したか」『指導資料 新選日本史 B, 東京書籍』1995年。
14. 「醸造業」「ええじゃないか」『日本歴史館』小学館、1994年。
15. 「醸造業の展開」『取手市史 通史編』、1992年、325～369頁。
16. 「農村構造の変質」同上、569～580頁。
17. 「村むらの動揺と関東取締出役」同上、588～606頁。
18. 「幕末の諸情勢」同上、663～685頁。
19. 「帰農する後北条氏の家臣たち」「新しい村」「役と年貢と人々と」「幕末の騒動と住民」『図説ふじさわの歴史』1991年。
20. 「徳川家康の入部と領地の編成」『鎌倉市史 近世通史編』、1990年、81～120頁。
21. 「村々の人馬継立」同上、205～235頁。
22. 「補説 百姓論」「補説 村方騒動の研究史」井上光貞他編『日本歴史大系』3巻、山川出版社、1989年。
23. 『飯田・上飯田の歴史』上巻、分担執筆(第二章総説、第二章第三～六節、第三章第二節)。

VIII. 自治体史資料編纂

1. 『新 府中市史』近世資料編1～3巻、2020～2022年。
2. 『横須賀市史』近世資料編、2011年。
3. 『取手市史』近世資料編。
4. 『野田市史』近世資料編。

IX. 監修・責任編集

1. 『鎖国と開国』内蒙古人民出版社、学術書、監修、2004年。
2. 『徳川時代の社会史』内蒙古人民出版社、学術書、監修、2003年。

X. 研究動向

1. 「在地社会」『史学雑誌 二〇〇六年の歴史学界——回顧と展望——』第116編 第5、2007年5月。

XI. その他

1. 新刊紹介「安藤精一『近世農村史の研究』」『史学雑誌』94-3、1985年。
2. 新刊紹介「『御触書集成編年索引』」『史学雑誌』107-3、1998年。
3. 「家の歴史」飯田市歴研ニューズレター82号。

4. 飯田市地域史研究集会「飯田・下伊那の歴史的景観」趣旨説明『飯田市歴史研究所研究年報』14号、2016年、7～8頁。
5. 「解説—宮下家と和合村—」『書き残された和合史—宮下家古文書を解く』南信州新聞社出版局、2012年、133～139頁。
6. 「教員・図書館職員がえらぶ新入生にすすめる本」『ピエリア』2009年春号。
7. 「外大生にすすめる本」『ピエリア』2010年春号。
8. 「新入生へのメッセージ 探求するところ」『ピエリア』2011年春号。
9. 「わたしの好きな文字 「籐」から拓けた研究」『ピエリア』2014年春号。
10. 「新入生へのメッセージ 現実をみつめることから始める—山里の暮らしから学ぶ」『ピエリア』2020年春号。
11. 「江戸時代のジェンダー」「一五〇年前の外語大」『ピエリア』2023年春号。